出エジプト記の結晶の学び（2）第 13 週

律法は神の証しであって神を彼の民に啓示し、
また神の生ける言葉であって彼の実質を、彼を愛し尋ね求める者の中へと注入する

鳥瞰	律法は神の証し、表現として、神が誰であるかを彼の民で啓示します。律法には二つの面、文字の面とその霊の面があることと律法の機能には二つの面があることを認識する必要があります。律法は神の生ける言葉であり、彼の実質を尋ね求める者の中へと注入します。律法の最高の機能は、神の実質をわたしたちの中へと分け与えることです。神の真の礼拝者となり、時間を費やして神を注入していただき、わたしたちが神をもって光を放ち、神を輝き出すことで、神の永遠のエコノミーを完成します。	
	真理要点	経験適用
1日	❶十戒が啓示する神の六つの特性とは？ ❷律法は神の証しとしてのキリストの予表であることを説明してください。	❶十戒はまず①神のねたみを啓示します。②また神は聖であることを啓示します。それは神がすべてのものから分離されていることを指します。③神は愛の神です。もしわたしたちが両親を敬わないなら、かれらを愛していないことを意味します。④神はまた義ですから、彼を憎む者たちの罪に報いられます。⑤神はまた真実です。偽りの証しをせず、実際の言葉を語ります。⑥神はまた純潔です。むさぼりは不純で不潔であるからです。 ❷律法はキリストの予表、絵です。律法は神を語り、神を描写し、神を表現するキリストの予表です。わたしたちは、律法が証しであり、神をわたしたちに啓示していることを見る必要があります。律法はキリストの予表であり、キリストが神の証しであることを予表します。彼は完全かつ充分に正確に神を描写し表現しているお方です。
2日	❶律法の 2 つの面とはなにですか、またわたしたちの態度はどうあるべきですか。 ❷律法の機能の 2 つの面とはどのようなものですか？	❶ 文字の面とその霊の面があります。「文字は人を殺しますが、その霊は人に命を与えます」。律法に来るときのわたしたちの態度が、ただ文字の戒めだけに関心があるだけなら、わたしたちは、律法を殺す文字の面で持つことになります。しかし、わたしたちが律法のあらゆる部分、すなわちすべての戒め、規定、おきて、教訓、裁きを、わたしたちの愛する神の息吹きだされた言葉とするなら、命を与える霊の面での律法を持ちます。 ❷消極な面で、律法は人の罪を暴露し、罪人を神の御前に服従させます。律法はまた神の選びの民をその後見人の中で守ります。それは彼らをキリストへともたらすためです。積極的な面で、律法は神の生ける証しとして機能して、生ける神を、彼を尋ね求めるものに供給します。また律法は神の生ける言葉として機能して、神ご自身を命また光として律法を愛する者の中へと分与します。
3日	❶神が民と交わる中で、十の言葉を語りましたが、この意義を述べてください。 ❷ モーセは四十日、山の上で神と交わりをもった経験は、わたしたちに何を啓示していますか？	❶これらの言葉は単に、わたしたちが順守する律法ではありません。これらの戒めは単に、神聖な律法の多くの命令ではありません。神は言葉を通して、彼ご自身から出たものを彼の言葉を聞く人の中へと息吹き込まれます。 摩西在山上與神交通的那些日子裡，經歷了一種神聖的注入，就是神的本質注入 到他的全人裡面，使他的面皮發光。雖然摩西能把兩塊石版摔碎，卻不能除去他 在山上與神交通時所得著的灌注 ❷モーセは山の上での神との交わりの間、ある種の神聖な注入を経験しました。それは神の実質が彼の存在の全体へと注入され、彼の顔は輝いていました。モーセは二枚の板を投げ捨ててそれを打ち砕くことはできましたが、山の上で神と交わりの時に受けた注入を除き去ることはできませんでした。
4日	❶わたしたちは、いかに正しく律法に近づき、律法の要求を行ないますか？ ❷ 律法、言葉、息、神は一であることを述べてください。	❶わたしたちは神を愛し、神を尋ね求めるものであるべきです。それはパウロと同じようにキリストを愛し、追い求める者であるべきです。わたしたちはこうするならば、日ごとに神が注入されるでしょう。一旦、神の本質がわたしたちの中へと注入されたなら、神がわたしたちの内側から彼ご自身の律法を順守します。 ❷ キリストご自身は神の生ける律法です。わたしたちにとって、キリストは真の律法、神の言葉、神の表現、神の息です。神の心の中で、律法は実はキリストご自身です。神が与える律法は、彼の表現また彼の息としてのキリストです。ですからキリストはわたしたちの律法であり、神の御言、神の息、神の表現であるキリストです。
5日	❶二つの異なる種類の人がどのように律法を扱いますか？ ❷詩編の作者はどのように詩編 36 篇 8 節と 9 節の中の命の豊富を享受しますか？	❶この二種類の人は、神を愛し尋ね求める者と、律法の文字を順守する者、ユダヤ教宣教者です。神を愛し尋ね求める者の中で、わたしたちは旧約の詩篇の作者と新約の中のシメオンとアンナの経験を見ることができます。詩篇によれば、詩篇の作者は極みまで律法を愛しました。もしもわたしたちがキリストから離れて律法を愛するなら、目標を見失ってしまします。しかしながら、律法を神の証しとして、またキリストの予表として愛することは正しいのです。 ❷詩篇の作者が三一の神を享受することは今日のわたしたちと同じです。神の家の脂肪分で満ち足り、彼の楽しみの川から飲むことは、三一の神を享受することです。詩篇の作者は律法の要求を順守しようとしていたのではなく、神を追い求めていました。神を追い求めることで、彼らに神が注入されました。自然に彼らは神によって与えられた律法にしたがって生きただけでなく、また神の性質にしたがって生きました。
6日	❶わたしたちが御言を読む時に注意すべきことはなにでしょうか？ ❷地上での最高の職業が、時間を費やして神を注入されることであることを述べてください。	❶主イエスが地上におられたとき、ユダヤ教宣教者は進んで積極的に彼と接触しようとしませんでした。彼らは聖書を知ることを欲しましたが、キリストから離れて聖書の知識を追い求めていました。キリストから離れて聖書を読む可能性が確かにありますが、わたしたちが祈り読みするなら、御言を読むとき主との接触の中にいるでしょう。 ❷モーセは山の上で四十日を過ごして神が注入された後、神の光で輝いていました。注意してください、神はモーセに何を行なうことも求められませんでした。そうではなく、神は彼ご自身をモーセの中へと注入して、モーセが彼をもって輝き始めるまでになりました。時間を費やして神を注入していただき、わたしたちが神を輝かし出すならば、これは神のために何を行なうことよりも、はるかに偉大なことです。
まとめ	神の言葉として、律法の最高の最も内在的な機能は、神の実質をわたしたちの中へと分け与えて、わたしたちを神と一にすることです。わたしたちが律法を取り扱う正しい態度は、それを神の生ける言葉とし、神の息として見ることです。わたしたちは詩篇の作者のように、シメオンとアンナのように神を尋ね求める者となる必要があります。神の御言を祈り読みすることを通して、神の成分をわたしたちの中へと吸い込み、時間を費やして神の御前に留まって祈り、神を注入していただき、わたしたちが神をもって光を放ち、神を輝かしだします。このことは地上での最高の職業です。	